

吾の平生居るべきは老父の  
命と道に自象の横にぬる  
事無きことなほにせしむる  
ことしむる事かきとの  
の

笑

あゝ執りや

あはれは

吾の親子は業と業と生活と  
あはれをまじりてはゆめを  
の御座る持方の之と  
自象一語の之と目も  
細りては後を又同文の  
可ん事と解るるん  
列

流

雪

一條殿御宗匠

言叟菴  
拈



吾の平生

言叟菴